

5. エリアごとの現状と課題

【小山田エリア】



(1)現状

小山田エリアは、町田市北部に位置し、多摩市や八王子市の多摩ニュータウンに接する地域です。多摩丘陵の大きな緑地帯を抱え、一帯が鶴見川の源流域となっており、複数の尾根と谷戸によって構成される丘陵地です。

大部分は市街化調整区域となっており、農地も多く、里山の原風景を今に残す自然環境豊かな地域です。

小山田緑地の一部は、1961年に風致地区に指定されました。また、その他のまとまったみどりも都市計画緑地や東京都保全地域の歴史環境保全地域などに指定され保全されています。

(2)地域特性

①自然環境

ア. 地形

地域のほぼ全域が丘陵地にあり、多摩市との境にある標高 150m前後の尾根を最高に、起伏に富んだ複雑な地形が見られます。そのため多くの谷戸が点在しており、谷戸山と農地が一体となった谷戸を形成しています。

イ. 景観

起伏に富んだ地形によってつくられる様々な眺望が見られます。空間の開けた場所では尾根の稜線の随所で見られ、場所によっては大山・丹沢の山並みや、その向こうにそびえる富士山を望むこともできます。また河川や街道沿いからは、丘陵の稜線の緑が帯のように連なる姿を見ることが出来ます。

地域内には多くの古道があり、歴史的な趣と豊かな自然が融合した景観が形成されています。

②社会環境

ア. 人口・世帯数

2021年(令和3年)4月1日現在				
地域	世帯数	人口	男	女
町田市総数	201,449	429,645	210,121	219,524
小野路町	1,987	3,716	1,907	1,809
上小山田町	1,801	4,686	2,351	2,335
下小山田町	1,789	3,864	1,904	1,960
相原町	7,056	14,927	7,243	7,684
三輪町	3,204	6,638	3,509	3,129
	15,837	33,831	16,914	16,917

イ. 歴史

奥州への古い街道沿いに発達した由緒ある里です。小山田一族は桓武平氏の出であり、城主有重の子ら6兄弟は鎌倉幕府の御家人として大活躍したことが知られています。小山田城址は大泉寺にあります。

ウ. 観光・コミュニティ(活動団体等)等

- 鶴見川源流保水の森
- 都立小山田緑地
- 大谷里山農園
- 小山田ブルーベリー園
- 小山田苗圃
- 市立室内プール
- 蓮田公園（予定）
- 尾根緑道

エ 団体

- NPO法人鶴見川源流ネットワーク
- 田中谷戸街づくり協議会
- 小山田中部街づくり協議会
- 衾まちやま
- 小山田の森委員会
- 町田マウンテンバイク友の会

(3)地域の課題

- 住民の日常生活の利便性・安全性の向上
- 農業に従事している住民の高齢化や後継者不足
- 手入れの行き届かない樹林地・農地の増加

2. エリアごとの取組

【小山田エリア】



1. 地域のビジョン(たたき台)

地域住民と来訪者が交流し、お互いに居心地のよさを感じることができるよう、里山を再生することから取組を進めていきます。

本エリアでは以下のビジョンを掲げ、リーディングプロジェクトを推進していきます。

だれもが居心地のよさを
感じることができる里山環境の再生と活用

- 地域住民の安全・安心につながる里山環境の再生
- 多様な主体の連携・協働による豊かな農環境・資源の活用、自然資源の活用

2. リーディングプロジェクト(案)

プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
1 拠点施設の整備	1 2 3 4						
①自転車や散策などを楽しむ来訪者の休憩、地域住民と来訪者が交流する場の整備（交流回遊拠点） ②小山田小学校北側の山林をはじめ、630号線沿線の山林を再生し、地域の子どもたちや住民、来訪者が森を楽しみ、マウンテンバイクやドローン、ジップラインなどをはじめとする活動ができる場を整備							
プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
2 農を活用した地域の賑わいの創出	1 2 3 4						
農業が盛んな地域の特性を活かし、「農」をテーマとして農業従事者や地域住民・来訪者が交流する場の創出（例：観光農園）→環境の充実							
プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
3 新たな取組の定着化	1 2 3 4						
①民間事業者等と連携・協働し里山環境を活用して地域の活性化や環境の保全につながる事業の実施 ②（仮称）里山クリーンアップキャンペーンといった環境の再生・保全の取組の企画・実施 ③山林の再生により発生した木材を活用できる場の整備							

【小野路エリア】



(1)現状

小野路エリアは小山田エリアと同様に、町田市北部に位置し、多摩ニュータウンに接する地域です。多摩丘陵の大きな緑地帯を抱え、鶴見川の源流域となっており、複数の尾根と谷戸によって構成される丘陵地です。谷間を走る街道沿いに街並みが形成され、江戸時代に宿場としてにぎわった小野路宿や寺社など歴史的資源が点在しています。

大部分は市街化調整区域となっており、農地も多く、里山の原風景を今に残す自然環境豊かな地域です。

国の「生物多様性保全上重要な里地里山」として「図師小野路歴史環境保全地域及び奈良ばい谷戸」が選定されています。

(2)地域特性

①自然環境

ア. 地形

地域のほぼ全域が丘陵地にあり、起伏に富んだ複雑な地形が見られます。そのため多くの谷戸が点在しており、谷戸山と農地が一体となった谷戸の景観を形成しています。

イ. 景観

起伏に富んだ地形によってつくられる様々な眺望が見られます。空間の開けた場所では尾根の稜線の随所で見られ、場所によっては大山・丹沢の山並みや、その向こうにそびえる富士山を望むこともできます。また河川や街道沿いからは、丘陵の稜線の緑が帯のように連なる姿を見ることもできます。

小野路城址、万松寺など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。地域内には多くの古道があり、歴史的な趣と豊かな自然が融合した景観が形成されています。

②社会環境

ア. 人口・世帯数

2021年(令和3年)4月1日現在				
地域	世帯数	人口	男	女
町田市総数	201,449	429,645	210,121	219,524
小野路町	1,987	3,716	1,907	1,809
上小山田町	1,801	4,686	2,351	2,335
下小山田町	1,789	3,864	1,904	1,960
相原町	7,056	14,927	7,243	7,684
三輪町	3,204	6,638	3,509	3,129
	15,837	33,831	16,914	16,917

イ. 歴史

「奈良ばい」は小山田氏や後北条氏の出城であった小野路城と小山田城を結ぶ城道でした。小野路城址、小町井戸などの史跡を含め、当エリアの南部は東京都歴史環境保全地域に指定されています。

ウ. 観光・コミュニティ(活動団体等)等

- 小野路宿里山交流館
- 小島資料館
- ヨリドコ小野路宿
- 小野路宿通り
- 野津田公園
- 小野路ブルーベリー園
- ハンドメイドの工房（家具工房 KASHO、山崎ギター工房、尺八工房 ふなぎら、柏葉窯陶芸教室）

エ. 団体

- NPO法人小野路街づくりの会
- NPO法人まちだ結の里
- NPO法人みどりのゆび
- あした農場
- おおるりファーム
- 小野路ぶどう園

(3)地域の課題

- 農業に従事している住民の高齢化や後継者不足
- 手入れの行き届かない樹林地・農地の増加
- 地域住民が安心して暮らせる環境整備

【小野路エリア】



1. 地域のビジョン(たたき台)

多様な担い手との連携・協働・交流により、貴重な里山や営農環境の保全と継承を推進し、居心地のよさを感じることができるよう、里山を活用する取組を進めていきます。
本エリアでは以下のビジョンを掲げ、リーディングプロジェクトを推進していきます。

豊かな自然・歴史資源や
農環境を活用した交流の促進

- 多様な主体の連携・協働による豊かな農環境・資源の活用、自然資源の活用
- 民間事業者等と連携した里山環境の積極的な活用

2. リーディングプロジェクト(案)

プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
1 竹林の再生と活用	1 2 3 4						
持続可能な保全につながる小野路町に多い竹林の再生、竹材を活用したワークショップの開催や食品の開発などにより、地域への来訪者促進につなげる							
プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
2 新たな取組の定着化	1 2 3 4						
①散策ルートの再整備 ②（仮称）里山クリーンアップキャンペーンの企画・実施							

【相原エリア】



(1)現状

相原エリアは、町田市西端に位置し、八王子市、相模原市に隣接する東西に細長く南北に高低差がある地域です。地域を横たわるように多摩丘陵の緑地帯が連なり、丘陵地の南側に境川が流れ、それに沿って町田街道が走っています。

八王子とつながる町田街道はかつて「絹の道」と呼ばれ、街道沿いに街並みが形成されてきました。1908年には相原駅も開設されるなど、今日の地域の姿は比較的早い時期に形成されています。また、高度成長期以降には複数の大学が立地しました。

地域北側の大半は多摩丘陵の豊かな自然環境に恵まれ、これらは市街化調整区域となっています。地域の西端には境川の源流があり、この一帯は大戸緑地として保全されているほか、野外活動や宿泊ができる市の施設として大地沢青少年センターが整備されています。

(2)地域特性

①自然環境

ア. 地形

地域は東西に細長く、南を流れる境川付近から北に向かって、低地、台地、丘陵地が連続しています。また境川からは幾筋の谷戸が広がり、町田市の地形の特徴が凝縮された地域です。

イ. 景観

西端の大戸緑地や地域北側の丘陵地には、豊かな樹林が残り、全体として緑豊かな景観が見られます。一方で、多摩境駅を中心に、多摩境通り周辺は近年開発整備が進み、緑が少なくなるなど景観の急速な変化が見られます。また、地域を東西に貫く町田街道沿いは、商業施設が建ち並ぶ一方で、旧街道の面影を残す場所も見られます。

②社会環境

ア. 人口・世帯数

2021年(令和3年)4月1日現在

地域	世帯数	人口	男	女
町田市総数	201,449	429,645	210,121	219,524
小野路町	1,987	3,716	1,907	1,809
上小山田町	1,801	4,686	2,351	2,335
下小山田町	1,789	3,864	1,904	1,960
相原町	7,056	14,927	7,243	7,684
三輪町	3,204	6,638	3,509	3,129
	15,837	33,831	16,914	16,917

イ. 歴史

町田街道の北側を中心に神社や寺が多く立地しています。円林寺、清水寺、諏訪神社などの寺社では、大きく育った敷地内の立派な樹木や周辺の緑と一体となった景観が見られます。清水寺のアカガシ群落は、市指定天然記念物にもなっています。また、青木家住宅、長福寺、田端環状積石遺構、相原窯跡など、多くが文化財や史跡に指定され、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。

ウ. 観光・コミュニティ(活動団体等)等

○

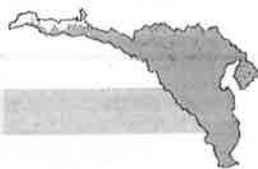
エ 団体

○

(3)地域の課題

- 住民の日常生活の利便性・安全性の向上
- 相原駅周辺のにぎわいづくりと生活を支える機能の向上
- 多様な主体の連携・協働のしくみづくり

【相原エリア】



1. 地域のビジョン(たたき台)

既存の活動団体の横のつながりや地域コミュニティを醸成し、多くの人が歴史や文化とふれあいながら里山環境を活用していくための取組を進めていきます。
本エリアでは以下のビジョンを掲げ、リーディングプロジェクトを推進していきます。

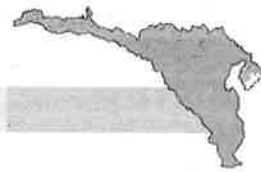
多様な主体の連携・協働による
里山環境の活用

- 既に地域で活動している市民の間におけるビジョンの共有
- 新たな活動を後押しする地域の基盤づくり

2. リーディングプロジェクト(案)

プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
1 新たな取組につながる体制づくり	1 2 3 4						
地域住民や団体、事業者等との連携など、里山環境の活用につながる体制づくりに取り組む							
プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
2 新たな取組の定着化	1 2 3 4						
①里山を活用したアートイベントの検討 ②地域で活動する若い世代との連携・協働のしくみづくり							

【三輪エリア】



(1)現状

三輪エリアは、町田市の北東部に位置し、そのほとんどが川崎市や横浜市に接する地域です。鶴見川やその支流の周辺は低地で、その他は丘陵地となっており、起伏の豊かな地域となっています。

1927 年の小田急線鶴川駅の開設を皮切りに土地区画整理事業などの面的な整備によって農村から住宅地としての変遷を遂げましたが、三輪町には市街化調整区域があり、横浜市までつながるまとまったみどりが残っています。

国の「生物多様性保全上重要な里地里山」として「三輪町の森」が選定されています。(環境マス)

(2)地域特性

①自然環境

ア. 地形

町田市の北東部に位置し、川崎市や横浜市に隣接する地域です。河川や街道沿い、小田急線沿いの低地部分から幾筋もの丘陵の尾根が連なるなど、高低差に富み、起伏が豊かな丘陵地の地形が見られます。

緑豊かな丘陵の尾根に囲まれた住宅地や、里山や谷戸の田園風景がみられる一方で、鶴川団地など面的な整備が行われてきました。近年でも大規模な宅地開発が行われるなど、急激に変化している景観も見られます。

イ. 景観

妙福寺周辺を含む一帯には、緑が深く典型的な谷戸の景観が見られます。幾筋もの尾根と谷によって複雑に入り組んだ地形は、さまざまな場所からさまざまな方向に眺望を体験することができます。地形の低い場所を流れる鶴見川や真光寺川からは、間近に迫る緑の斜面の尾根線が見られます。

②社会環境

ア. 人口・世帯数

2021年(令和3年)4月1日現在

地域	世帯数	人口	男	女
町田市総数	201,449	429,645	210,121	219,524
小野路町	1,987	3,716	1,907	1,809
上小山田町	1,801	4,686	2,351	2,335
下小山田町	1,789	3,864	1,904	1,960
相原町	7,056	14,927	7,243	7,684
三輪町	3,204	6,638	3,509	3,129
	15,837	33,831	16,914	16,917

イ. 歴史

特に三輪町や能ヶ谷町の丘陵地には、緑豊かな自然環境と一体となった西谷戸横穴墓群や寺社など、他の地域と比べても多くの歴史的資産が残ります。

また、文化財に指定されているものもあります(妙福寺祖師堂・本堂鐘桜門・高麗門、熊野神社本殿、白洲次郎・正子旧宅)。

ウ. 観光・コミュニティ(活動団体等)等

○

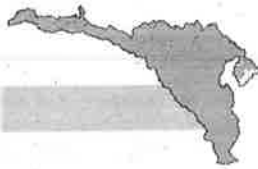
エ 団体

○

(3)地域の課題

- 住民の日常生活の利便性・安全性の向上
- 住宅地の特性に応じた住環境の維持・更新
- 多様な主体の連携・協働のしくみづくり

【三輪エリア】



1. 地域のビジョン(たたき台)

団体の活動や取組を通して多くの人が地域の自然・歴史・文化資源にふれあうことができる里山環境の実現につながる取組を進めていきます。
本エリアでは以下のビジョンを掲げ、リーディングプロジェクトを推進していきます。

自然・歴史・文化資源にふれあえる
里山環境の実現

- 既に地域で活動している市民の間におけるビジョンの共有
- 自然・歴史・文化資源への地域の理解促進

2. リーディングプロジェクト(案)

プロジェクト	対応する 基本方針	2022	2023	2024	2025	2026	後期5年
1 既存の計画に基づく事業の推進	1 2 3 4						
美しい谷戸田のある風景などの豊かな自然環境の保全に取り組みます。また、多くの人が自然環境を通じた学びや歴史にふれあえる機会を充実していきます。							